

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
			○	柔道整復師	スポーツトレーナー			日本語						
授業科目名	柔道整復学・総論 I					担当教員名			尾藤 何時夢					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	○				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	専門分野である柔道整復学の成り立ち、歴史、人体の構造と機能を学習する													
授業目標	柔道整復学総論基礎分野および関係する人体の構造と機能を習得する													
成績評価法	期末試80%授業態度10%レポート10%													
その他	実務経験：有…尾藤何時夢（整骨院・接骨院にて勤務経験）													
回数	授業計画													
1	オリエンテーション、授業進行について、人体解剖学専門用語について													
2	関節の損傷（捻挫・脱臼）、関節の構造①について													
3	関節の構造②について													
4	関節損傷の分類について													
5	鑑別診断を要する類症について													
6	脱臼とはなにかを学習について													
7	脱臼の分類①について													
8	中間確認試験（振り返り授業）													
9	脱臼の分類②について													
10	脱臼の症状①について													
11	脱臼の症状②脱臼の合併症について													
12	脱臼の整復障害について・脱臼の経過と予後①について													
13	脱臼の整復障害について・脱臼の経過と予後②について													
14	前期まとめと復習													
15	前期のまとめと期末試験													

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
			○	柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語								
授業科目名	柔道整復学・総論II					担当教員名			範 菜々美					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数	1				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	柔道整復学・理論編（改訂第7版：南江堂）、柔道整復学・実技編（改訂第2版）を使用し、板書で行う。各項目ごとに小テストを実施し、学習の定着を確認する。													
授業目標	柔道整復学理論の基礎を理解する。													
成績評価法	小テスト 10% 期末試験 90%													
その他	実務経験：有…範菜々美（整形外科にて勤務経験）													
回数	授業計画													
1	人体に加わる力、痛みの基礎													
2	骨の形態と機能 骨の構造、骨損傷の概説、骨損傷の分類													
3	骨折の症状													
4	骨折の症状													
5	骨折の合併症													
6	小児骨折、高齢者骨折													
7	復習													
8	骨折の癒合日数、骨折の治癒過程													
9	骨折の予後と骨折の治療に影響を与える因子													
10	治療法（骨折の整復法）と固定法													
11	治療法（骨折の整復法）と固定法													
12	指導管理													
13	外傷予防													
14	復習													
15	期末試験													

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校								
					○	柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語							
授業科目名	柔道整復学・総論Ⅲ					担当教員名			尾藤 何時夢						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次			
単位数	○				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中	
授業概要	医学の歴史から柔道整復術の歴史と現在														
授業目標	柔道整復師の歴史について習得し現在の施術法について														
成績評価法	期末試80%授業態度10%レポート10%														
その他	実務経験：有…尾藤何時夢（整骨院・接骨院にて勤務経験）														
回数	授業計画														
1	オリエンテーション、授業進行について、関節損傷について														
2	関節の損傷（捻挫・脱臼）、関節の構造①について														
3	関節損傷の分類について														
4	靭帯の治癒機序について														
5	靭帯の損傷とその予後経過について														
6	軟骨損傷の分類、合併症、治癒機序について														
7	筋の損傷について														
8	中間確認試験（振り返り授業）														
9	筋の構造について														
10	筋損傷について、概説、分類、症状、治癒機序、予後について①														
11	腱損傷について、概説、分類、症状、治癒機序、予後について①														
12	末梢神経損傷について概説、分類、症状、治癒機序、予後について①														
13	末梢神経損傷について概説、分類、症状、治癒機序、予後について②														
14	前期まとめと復習														
15	前期のまとめと期末試験														

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	和歌山医療スポーツ専門学校										
			○	柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語								
授業科目名	柔道整復実技 I			担当教員名	尾藤 何時夢									
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次			2年次			3年次		
単位数			○		授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	柔道整復術の基本包帯を学習し習得する													
授業目標	基本包帯について習得する													
成績評価法	期末実技試験80% 授業態度10% レポート10%													
その他	実務経験：有…尾藤何時夢（整骨院・接骨院にて勤務経験）													
回数	授業計画													
1	オリエンテーション、基本包帯基礎理論													
2	固定の理論													
3	巻軸包帯の基本帯・環行													
4	巻軸包帯の基本帯・環行② 蛇行帯①													
5	巻軸包帯の基本帯・螺旋帯													
6	巻軸包帯の基本帯・亀行帯													
7	巻軸包帯の基本帯・麦穂帯①													
8	巻軸包帯の基本帯・麦穂帯②													
9	中間確認実技試験													
10	基本包帯を利用する患部の包帯法①手													
11	基本包帯を利用する患部の包帯法②足													
12	基本包帯を利用する患部の包帯法③肩													
13	基本包帯を利用する患部の包帯法④肘													
14	三角巾包帯法													
15	基本包帯の実技試験													

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校									
			○				柔道整復師			スポーツトレーナー			日本語			
授業科目名	解剖学Ⅰ					担当教員名			宮崎 刀一							
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次			1年次			2年次			3年次		
単位数	3				授業時間数			前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	柔道整復師として必要な人体構造の知識の習得を目的とする。国家試験問題も必要かつ十分な量の															
授業目標	人体の構造と機能を理解し、解剖学Ⅱと連携した学習を目指す。															
成績評価法	中間テスト、期末テスト、授業態度を総合的に評価する。															
その他	実務経験：有…宮崎 刀一（歯科医院にて歯科医師として勤務）															
回数	授業計画															
1	細胞小器官の構造、機能 組織の分類 組織の分化															
2	演習 支持組織、筋組織、血液															
3	循環器、心臓の構造、心筋の特徴、心臓の弁															
4	心臓の脈管、演習、大循環、小循環 刺激伝導系															
5	心電図、心臓の血管、動脈総論、大動脈とその枝															
6	ウイリス動脈輪、胸大動脈、腹大動脈															
7	総腸骨動脈、鎖骨下動脈、外腸骨動脈、内腸骨動脈															
8	奇静脈、門脈皮静脈、胎児循環、リンパ															
9	循環系演習、循環のまとめ															
10	呼吸器総論 口腔、咽頭															
11	気管支、肺の構造、機能															
12	肺胞、ガス交換、呼吸筋															
13	肺胞換気量、死腔															
14	拘束性肺疾患、閉塞性肺疾患															
15	呼吸器演習															
16	胃、小腸、大腸															
17	肝臓、膵臓															
18	消化器演習															
19	泌尿器系総論															
20	腎臓															
21	尿管、膀胱、尿道															
22	泌尿器系演習															
23	生殖器総論															
24	男性生殖器、女性生殖器															
25	生殖のしくみ															
26	生殖器演習															
27	内分泌系総論															
28	ホルモンの分類															
29	フィードバック、内分泌疾患															
30	ホルモンの作用 (1)															
31	ホルモンの作用 (2)															
32	ホルモンの作用機序															
33	内分泌系演習															
34	神経系総論、神経の分類															
35	中枢神経															
36	末梢神経、脳神経															
37	頸神経叢、腕神経叢															
38	胸神経叢、仙骨神経叢、腰神経叢															
39	交感神経、副交感神経															
40	脳の機能局在															
41	反射総論															
42	脊髄反射、脳幹反射															
43	大脳皮質が関与する反射															
44	内臓一体性反射															
45	内臓－内臓反射、体性－内臓反射															

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校							
			○				柔道整復師	スポーツトレーナー	日本語					
授業科目名	解剖学Ⅱ					担当教員名	宮崎 刀一							
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次		2年次			3年次			
単位数	1				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	解剖学Ⅰで学んだ知識を平面的ではなく、立体的に結び付けられるような知識の習得を目指すために十分な演習を行っていく。													
授業目標	解剖学Ⅰに引き続き、柔道整復師に必要な解剖学の知識の習得を目標とする。													
成績評価法	中間テスト、期末テスト、授業態度を総合的に判断する。													
その他	実務経験：有…宮崎 刀一（歯科医院にて歯科医師として勤務）													
回数	授業計画													
1	筋紡錘、筋の伸長													
2	腱紡錘、筋の張力													
3	錘内筋、錘外筋													
4	神経系まとめ													
5	神経系演習													
6	感覚器総論													
7	体性感覚、深部感覚													
8	視覚器													
9	味覚													
10	嗅覚													
11	聴覚													
12	平衡感覚													
13	感覚器演習													
14	総まとめ													
15	総演習													

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校							
			○				柔道整復師	スポーツトレーナー		日本語				
授業科目名	解剖学Ⅲ					担当教員名	橋爪 務、範 菜々美							
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次		2年次		3年次				
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	教科書として解剖学（改訂第2版）、副読本としてプロメテウス解剖学アトラス（改訂第2版）を使用し、板書で行う。各項目ごとに小テストを実施し、学習の定着を確認する。													
授業目標														
成績評価法	小テスト 10% 期末試験 90%													
その他	実務経験：有…範菜々美（整形外科にて勤務経験）													
回数	授業計画													
1	骨の役割、骨の形状による分類、骨の構造													
2	骨の発生と成長、骨表面の形状、骨の連結													
3	体幹の構造・機能													
4	体幹の構造・機能													
5	肩甲骨・鎖骨の構造・機能													
6	上腕骨・橈骨・尺骨の構造・機能													
7	手の骨の構造・機能													
8	上肢の関節													
9	寛骨・骨盤の構造・機能													
10	大腿骨・脛骨・腓骨の構造・機能													
11	足の骨の構造・機能													
12	頭蓋骨の構造・機能													
13	下肢の関節													
14	復習													
15	期末試験													
16	骨格筋総論													
17	背部の筋の構造・機能													
18	頭頸部の筋の構造・機能													
19	胸部の筋の構造・機能													
20	上肢の筋の構造・機能													
21	上肢の筋の構造・機能													
22	上肢の筋の構造・機能													
23	上肢の筋の構造・機能													
24	復習													
25	下肢の筋の構造・機能													
26	下肢の筋の構造・機能													
27	下肢の筋の構造・機能													
28	下肢の筋の構造・機能													
29	復習													
30	期末試験													

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校							
			○				柔道整復師	スポーツトレーナー		日本語				
授業科目名	生理学 I					担当教員名		橋爪 務、範 菜々美						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次		2年次		3年次				
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	生理学（改訂第4版：南江堂）、解剖学（改訂第2版）を使用し、板書で行う。 各項目ごとに小テストを実施し、学習の定着を確認する。													
授業目標	人体各部の機能についての知識の習得を目標とする。													
成績評価法	小テスト 10% 期末試験 90%													
その他	実務経験：有…範菜々美（整形外科にて勤務経験）													
回数	授業計画													
1	細胞の構造と機能													
2	細胞の構造と機能													
3	組織・器官と生体の機能系、ホメオスタシス													
4	血液の生理学													
5	血液の生理学													
6	血液の生理学													
7	理解度確認試験、復習													
8	循環の生理学													
9	循環の生理学													
10	循環の生理学													
11	呼吸の生理学													
12	呼吸の生理学													
13	呼吸の生理学													
14	復習													
15	期末試験													
16	消化と吸収													
17	消化と吸収													
18	消化と吸収													
19	消化と吸収													
20	栄養と代謝													
21	栄養と代謝													
22	理解度確認試験、復習													
23	体温とその調節													
24	体温とその調節													
25	尿の生成と排泄													
26	尿の生成と排泄													
27	尿の生成と排泄													
28	尿の生成と排泄													
29	復習													
30	期末試験													

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		和歌山医療スポーツ専門学校							
			○				柔道整復師	スポーツトレーナー		日本語				
授業科目名	生理学Ⅱ					担当教員名	橋爪 務、範 菜々美							
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次	1年次		2年次		3年次				
単位数	2				授業時間数	前期	後期	集中	前期	後期	集中	前期	後期	集中
授業概要	生理学（改訂第4版：南江堂）、解剖学（改訂第2版）を使用し、板書で行う。 各項目ごとに小テストを実施し、学習の定着を確認する。													
授業目標	生理学Ⅰに引き続き、人体各部の機能についての知識の習得を目標とする。													
成績評価法	小テスト 10% 期末試験 90%													
その他	実務経験：有…範菜々美（整形外科にて勤務経験）													
回数	授業計画													
1	内分泌の生理学													
2	内分泌の生理学													
3	内分泌の生理学													
4	内分泌の生理学													
5	内分泌の生理学													
6	内分泌の生理学													
7	理解度確認試験、復習													
8	生殖の生理学													
9	生殖の生理学													
10	骨の生理学													
11	骨の生理学													
12	筋の生理学													
13	筋の生理学													
14	復習													
15	期末試験													
16	高齢者の生理学的特徴・変化													
17	発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化													
18														
19														
20														
21														
22														
23														
24														
25														
26														
27														
28														
29														
30														